

## 【小児科】 ～ 予防接種の世界事情 ～

小児科医師：富田 雄一郎

### 【はじめに】

コロナのワクチンが開始され非常に注目されています。それにあやかり今回はワクチン（ワクチン）について日本と世界との制度上の違いを調べてみました。

### 【日本の予防接種制度】

日本の子どもの一般的なワクチンは現在定期・任意を含めると数多くあります。

定期接種とは予防接種法で定められているワクチンをさします。料金を行政が支払い、決められた年齢で決められた回数接種するワクチンのことです。任意接種とは国が接種を認めているものの予防接種法には定められていないワクチンのことで、ご家族が費用を自己負担し、推奨されている年齢で接種するワクチンのことです。ただし任意接種は地方自治体が費用を負担してもらえるところもあり居住地域によってかかる費用に違いが出てきます。

日本におけるワクチンは予防接種法という法律によって運用され、接種は「努力義務」となっています。

定期予防接種	<p><b>ロタウイルス、B型肝炎、肺炎球菌、Hib</b>  <b>四種混合</b>（ジフテリア・破傷風・百日咳・不活化ポリオ）、  <b>麻疹風疹混合</b>（はしか・風しん）、<b>水痘、日本脳炎、子宮頸がん</b>  <b>予防</b>  <b>BCG、二種混合</b>（ジフテリア・破傷風）                  数は少ないですが<b>三種混合、不活化ポリオワクチン</b>も定期接種です。</p>
任意予防接種	<p><b>流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）</b>  <b>インフルエンザ</b></p>

流行性耳下腺炎予防接種に対し八王子市は独自の保健衛生政策により、接種費用の助成があります！！

2021年4月現在日本脳炎と流行性耳下腺炎のワクチンは出荷制限がかかり全国的に不足している状況です。

### 【努力義務と義務の違い】

義務は「必ずしなければいけない」行為を示します。しかし努力義務は「できるだけそうする」行為を示し特に罰則などは設けられておらず、なんだか中途半端な感じですか。これはワクチンの副反応に対する補償や責任の所在などが関係しています。では日本以外の国ではワクチンはどう運営されているのでしょうか。

### 【世界との比較】

世界各国でワクチンが行われていますが、日本では行われていないワクチンをやっていたり、日本でやっているワクチンをやっていないかたりとまちまちです。これはその国で流行しやすい感染症が異なり、また国によってワクチンにかけられる予算が違うためです。

日本ではワクチンが「努力義務」となっていますが、他の国ではどうでしょうか。先進7か国（G7）のフランス、ドイツ、イタリアでは一部のワクチンが「義務」となっており、フランスでは決められた期間にワクチンを受けていない人には過料（罰則）が発生します。ヨーロッパでワクチンを受けない子ども達が増え、近年はしかの患者数が減少していないためこのような政策に転換した経緯があります。またカナダとアメリカではワクチンを受ける義務はありませんが、就学にあたりワクチンを受けていることが条件になることがあり、事実上義務化していると考えられます。これらの国では寮制の学校が多く、安全に子ども達が過ごすために集団免疫の獲得が重要視されています。

国名	義務化	入園入学必須条件
日本	×	×
イギリス	×	×
アメリカ	×	○
フランス	○（ほぼ全て）	○
ドイツ	○（一部）	○
イタリア	○（ほぼ全て）	×
カナダ	×	○

2021年1月現在 Web 検索と医学論文より分かりえた範囲で作成

## 【日本でのワクチンの未来】

先進国の中でも日本はワクチン後進国と言われていました。現在定期接種化されているワクチンの種類は他の先進国とほぼ同じ状態です。ですが、子ども達やその保護者の方々にワクチンを勧める姿勢としてはまだまだ他国に及びません。かかると重症化しやすい感染症に対して免疫を準備しておくという個人免疫の観点からワクチンは重要です。また集団免疫（その人の生活圏をともにする人に感染を広げない）の観点からもワクチンで防げる（容易に感染しやすい病気から集団を守る）感染症に対しては、ワクチンを受けておくことが必要と我々は考えています。

京王八王子クリニックではワクチンに積極的に取り組んでいます。数多くのワクチンのスケジュールを立てる際ご不安があればご相談ください。また、八王子市は独自の市政策により、ワクチンを受けそこねてしまったり、その時重い病気にかかりワクチンができなかったりしたお子さん達への救済制度があります。お子さんの母子手帳にシールが貼られていないワクチンがあれば保健所に相談してみても良いでしょう。